

港北区の「活動」をつなぐ情報誌

# 楽らく遊ゆう学がく

第308号

2023(令和5)年12月  
隔月発行

【編集・発行】港北区区民活動支援センター

## 特集

本を通して地域をつなぐ  
「ミズキー文庫友の会」



(ミズキー文庫友の会の皆さん)

- P.2 特集 「ミズキー文庫友の会」
- P.3 「わがまち港北」スポット 港北区生活支援センター
- P.4 連載「シリーズ わがまち港北」第236回 林 宏美 著
- P.5 遊学スポット（港北区内・周辺のイベント情報）
- P.6 区民活動支援センターからのお知らせ

# 特集 「ミズキー文庫友の会」の取組を紹介します！

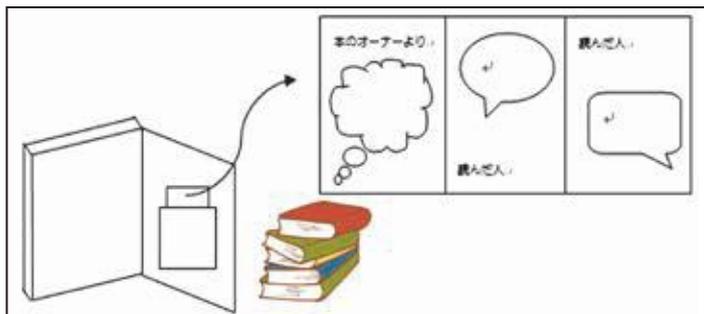


港北区役所1階エレベーターホールに、「ミズキー文庫」があるのをご存知でしょうか。ただの貸し出し文庫ではありません。本の裏側に付いているメッセージを通して人から人へつながっています。「ミズキー文庫」を設置してから延べ700冊を超える寄贈本があります。その本の管理・運営活動をしている「ミズキー文庫友の会」の取り組みを紹介します。

## 寄贈者の気持ちを大切に、次の人へとつないでいく

### 「ミズキー文庫」とは？

「ミズキー文庫」は、港北区区民活動支援センターが、平成28年5月に区役所に開設した「まちライブラリー」です。「まちライブラリー」とは、みんなで本を持ち寄り、みんなで育てていく図書館で、全国各地に設置されています。その数は、1,082か所もあります(2023年9月30日現在)。「ミズキー文庫」も区役所の中にある小さな図書館として「まちライブラリー」に登録しています。本の寄贈者が、感想カードに“本への想い”を書き、利用者が“本を読んだ感想”を書く。次から次へとメッセージがつながっていく仕組みです。



### 「ミズキー文庫友の会」の活動について

「ミズキー文庫友の会」のメンバーは、以前に区が主催した生涯学級「本からつながるひととまち」の運営委員です。本に関連した仕事に携わってきた方々なので、本についていろいろ質問するとすぐに教えてくれる“本のプロフェッショナル”です。

月1回の定例会では、寄贈された本に帯をつけ、感想カードが入るポケットを取り付け、感想カードを入れる作業をしています。寄贈本の中には、少し破れたり、シミがついているものもありますが、丁寧に切り取り、綺麗な紙を貼り直して、見事に蘇らせています。「これはミズキー文庫には置けないのでは？」と思うくらい、修復が大変そうな本でも「大丈夫ですよ。直します。この本を寄贈された方が皆さんに読んでもらいたい思いがあるので。」と、手際よく修理していきます。また、本のタイトルと「ミズキー文庫」に並べた日付をノートに記入し管理もしています。

### 人と人がどんどんつながり、活気のあるまちへ

港北区内では「まちライブラリー」に登録している団体がいくつかあります。「ミズキー文庫友の会」メンバーは、他のまちライブラリーとの連携も計画しているそうです。「港北区内まちライブラリー」のつながりが実現すれば、本のある居場所で、読書会や読み聞かせをしたり、ブッカー(本にフィルムを貼る)をかける講座を開いたり、しおりやPOPの作り方を学び合ったり、本についての情報交換などが可能になります。本をきっかけにまちに潤いができることを目標に「ミズキー文庫友の会」メンバーは活動を続けています。



本の修理をしているところ



「ミズキー文庫」



©横浜市港北区ミズキー

### 「ミズキー文庫」からのお願い

- 📖 おうちで眠っている本を寄贈してください。
- 📖 捨てる本やリサイクル本ではありません。
- 📖 本の内容で感動したこと、面白いと感じた場面などをひとこと書いてください。
- 📖 感想カードは、区民活動支援センター(区役所4階48番)でお渡しします。

※営利・宗教・政治的な書物、上中下など連続して読まないで理解できないもの、青少年の健全な育成を阻害するもの、情報が古くなると使えないもの、などは受け付けしていません。

生活支援センターは、心の病で通院加療中の方の社会参加や社会復帰を促進するよう、横浜市が各区に設置している施設です。港北区の生活支援センターは、日産スタジアムやリハビリテーションセンターに隣接して建つ横浜市総合保健医療センターの4階にあります。誰もが地域の中で安心して自分らしい生活を送れるように、心の病をもつご本人及びご家族へ①相談支援、②生活サポート、③場の提供(本稿下記)、の3本柱でサポートを行っています。 ※利用には登録が必要です



港北区生活支援センター(合築)

住所: 横浜市港北区鳥山町1735  
 横浜市総合保健医療センター4階  
 電話: 045-475-0120 FAX: 045-475-0121  
 開館時間: 10:30~19:30(土曜日は~16:30)  
 休館日: 毎週日曜日、年末年始(12月29日~1月3日)  
 交通: 鉄道各線「新横浜駅」下車 徒歩約15分、  
 市営バス「浜鳥橋」下車 徒歩約1分  
 第三京浜「港北IC」から車で約5分

公式ホームページはこちら   
<https://yccc.jp/mental/life-support/kohoku/>



## 多様なプログラムを用意してサポート

港北区生活支援センターでは、精神科の医師や心理士に相談できる『囁託相談』や、利用者が楽しみながら参加できるプログラムを多数用意しています。

例えば、8月には「納涼花火大会」を、10月には横浜市民防災センターへ出かける「風水害体験ツアー」を実施しました。これらのプログラムは利用者の屋外活動の契機となっています。また、奇数月の第3金曜日には『ほっとほっとカフェ』を開催。フリースペースに漂う、“コーヒーボランティアらんらん”の淹れるコーヒーの香りリラックスして、自然な会話も生まれます。『何でも好きなことしよう会』(月2回)では、手芸やクラフト、読書など、各々が気の向くままに打ち込みつつ、寄り合って過ごします。一方、ピア(当事者)活動『ふんわりWRAP』(月1回)は、講習を受けた当事者がファシリテーターとなり、月ごとのテーマに従って、暮らしに役立つ情報を学び合う学習会です。

その他、ご家族向けプログラム『白梅会おしゃべり会』や区内ケアプラザと連携した企画等、当事者とご家族がふらりと出かけて来られる場の提供に力を入れています。

毎月のプログラムは、月次発行の「港北区生活支援センター便り」に掲載されます。

 「センター便り」右上の公式ホームページからご覧いただけます

## みちあ 俳句仲間 道灯かり (ボランティアグループ)

「初心者歓迎、見学OK、俳句を通して仲間をつくりませんか?」と呼びかける当会は、利用者とボランティアがフラットに、それぞれの持ち味を生かして俳句を詠み合う、俳句でつながるコミュニティを目指すグループです。はじめは精神保健福祉ボランティアグループ「あみねっと」の俳句部門からで、今年で10年目に入りました。

毎月1回(第1金曜日午後)、フリースペースで活動しています。メンバーは現在、利用者13名、ボランティア8名。10月の俳句会におじゃましてみると、テーブルを口の字型に並べて向かい合い、それぞれが提出した作品の句評を皆で真剣に行っていました。

コロナ禍を経て今も休止のままのグループが多い中、禍中にはネット句会を立ち上げて活動を続け、対面句会も復活させました。俳句作りで外へ出かけ(吟行)、また公共施設や活動に賛同するギャラリー等、街中での展示も実施しながら、ゆるやかに地域とつながる、何より皆で楽しむことを大切にしている句会です。



 作品展示



## 駒林神社の石垣

NHK大河ドラマ「どうする家康」がまもなく最終回を迎えます。

江戸幕府の徳川将軍家の居城きよじょうといえば江戸城です。港北区内には往時の江戸城を垣間見ることができる場所があるのをご存じでしょうか。その場所は日吉本町にある駒林神社です。

『港北区神社誌』(昭和62年)によれば、駒林神社は元は旧中駒林村の天神社で、明治15年(1882年)4月に天照大神と天満大神を合併、大正3年(1914年)12月に八幡神社、十二天神社、熊野神社、妙義山神を合併したとあります。

駒林神社の「駒林」は日吉本町の旧村名で、文明18年から19年(1486～87年)の紀行文『廻国雑記』に登場するのがその初出とされます。地名の由来は①源頼朝が当地で白馬を献上されたことを喜んで「駒林」という名前を与えられたという説、②当地は駒こま(馬)がよく育ったので「駒榮えし地」が転じて「駒林」となったという説があります。

駒林村は明治22年(1889年)に日吉村大字駒林となり、昭和12年(1937年)の日吉村の横浜市編入によって神奈川区日吉本町となりました(昭和14年4月より港北区)。行政地名としての「駒林」はこの時になくなってしまいましたが、今も駒林神社や駒林小学校にその名を留めています。

さて、そろそろ本題に入りましょう。駒林神社は小高い丘の上にあり、社殿へ向かう石段は天神坂と呼ばれる坂道に面しています。神社のある丘のりめんの法面は石垣になっており、石垣のちょうど真ん中あたりに石段があって、その脇には「村社 駒林神社鎮守」と刻まれた大正2年(1913年)10月建立の標柱が立っています(写真①参照)。そして標柱から少し右に進んだところの石垣に、次のような文言が刻まれた銘板があります。



写真①

石垣工事記 奉納 牧野亀治郎 氏子一同

石材 この石は徳川家江戸に築城の際各藩けんのかうより献納した伊豆石で桜田会館建設の際に発掘した外濠そとぼりの石です。

昭和三十九年十月吉日(後略)

この説明から、石垣には江戸城外濠の石が使われていることがわかります。伊豆石は伊豆半島やその周辺から産出される石で、質が良く、地理的に海上輸送もしやすかったことから、江戸城の石垣には伊豆石、中でも硬質の安山岩が多く使用されました。

石には献納した大名と思しき刻印があるものも見受けられます。中でも折敷おしき(神事や食膳に使うお盆を模した八角形の形)に「三」の字をあしらった㊦の刻印と、㊧(○の中に「ひ」)の刻印2種が多く見られ、それぞれ豊後国臼杵藩ぶんごのくにうすきはんの稲葉典道いなばのりみちと筑後国柳川藩ちくごのくにやながわはんの立花宗茂たちばなむねしげと比定されています。また『ヨコハマ散歩』(森篤男、昭和48年9月第3版、横浜市観光協会)では、㊦㊧㊨(○の中に「水」「m」「幡」といった刻印について記載があります。筆者も実際に見に行きましたが、上記2種以外の刻印があるのは何となくわかるものの、見方が甘いのか、風化のせいなのか、細かい部分の判別はつきませんでした。

また、ショベルカーのショベルの先のような模様のついた石も複数見られます。これは矢穴やあな技法と呼ばれる方法で石を割った跡です。矢穴くさびの「矢」は楔型の工具で、矢穴はこの矢を差し込むためにノミと金槌で開けられた穴のことです。矢穴の跡は機械のなかった時代に石を加工するため、一つ一つ人の手で彫られた跡だと思えば、その労苦が偲べれます。

刻印や矢穴だけでなく、石の表面を直線状に削った「すだれ」の細工を施した石などもあり、限られた範囲ながら石垣の面白さを堪能できます。写真②から皆さんもぜひ探してみてください。

刻印などのある石は、石垣の上の方にはあまり見られません。天神坂を通る人が気づくように配置したのでしょうか。



写真②

しかし、なぜ江戸城外濠の石が駒林神社に使用されることになったのか、そこには銘板の説明に名前が登場する「牧野亀治郎」という人物が関わっているようです。また、石垣の石の発掘場所とされる「桜田会館」についても踏み込みたいところですが、紙面が尽きましたので、詳細はまた来年に。どうぞよい年の瀬をお過ごしください。

記: 林 宏美(公益財団法人大倉精神文化研究所図書館運営部長 兼 研究員)

# 遊学スポット(港北区内・周辺のイベント情報)

ここに掲載されている内容は、2023(令和5)年10月27日現在の情報です。詳細は、問合せ先にご確認ください。

## 港北図書館友の会「読書サロン」

- ① 12月17日(日) 一年の締め括りとして  
「今年の自分一番の一冊」について
- ② 令和6年1月28日(日) 文化論「北方文化と南方文化」  
時間:各回13:30~16:30 参加費:無料  
会場:港北図書館2階会議室 当日直接会場へ  
問合せ:事務局 TEL 423-2223(八木クリニック内)

## サロンみち「元気な高齢者の集いの場」

- ①12月18日(月)「いざという時の為に保険について学ぶ」
- ②令和6年1月29日(月)「新年♥お抹茶を愉しみましょう」  
時間:10:00~12:00  
会場:NICハイム綱島第7(3階集会室) ※綱島駅徒歩3分  
参加費:300円/回(茶菓子・保険料含む)  
問合せ:福祉クラブうえびーサロン「路」 TEL 561-3030

## 港北童謡の会

- ① 12月19日(火) 竹内雅拳先生 会場:港北公会堂  
時間:14:00~16:00 参加費:990円事前申込不要当日直接会場へ
- ② 令和6年1月22日(月) ニューイヤーコンサート 三縄みどり先生  
会場:都筑公会堂(1月のみ港北公会堂工事のため)  
時間:14:00~16:00 参加費:前売券1,500円 当日券2,000円  
※前売券は12月会場にて販売  
問合せ:はかりや TEL 070-5556-1491  
山本 TEL 090-6924-4650/竹内 TEL 090-6521-5879

## 第19回 港北美術展 出品作品募集

- (作品展示 令和6年2月28日~3月3日)
- 港北美術展では、絵画・書・写真・工芸・中学生以下の5部門で作品を募集中です。出品申込締切:令和6年1月12日(金)
- 応募資格:港北区在住・在勤・在学・区内を拠点として活動する個人
- 参加料:500円(中学生以下無料)
- ※1人1作品まで。部門をこえた複数出品はできません。
- 申込・問合せ:港北芸術祭実行委員会  
TEL 540-2239 メール ko-art@city.yokohama.jp

## 港北ボランティアガイドの会「一日で巡る横浜七福神」

- Aコース:1月5日(金)9:30~16:00 定員:30名
- Bコース:1月6日(土)9:30~16:00 定員:50名
- 集合:市営地下鉄グリーンライン日吉本町駅改札口前
- 解散:JR・東急菊名駅歩行約9kmコース※応募者多数の場合は抽選 参加費:500円(保険料等)
- 申込:HPの応募フォームまたは往復はがきに①「横浜七福神」※必ずA、Bコースを選択 ②干・住所・氏名(ふりがな)、参加者全員の氏名・年齢・電話番号 ③返信用に宛名を記入の上、区民活動支援センターまで 締切日:12月21日(木)必着  
問合せ:港北ボランティアガイドの会 <https://kouhokuv.g.yokohama/>

## 港北区民交響楽団 第73回 定期演奏会

- 日時:令和6年1月28日(日) 開演 14:00(開場 13:30)
- 会場:鎌倉芸術館 大ホール(JR大船駅徒歩約10分)
- 指揮:米田覚士
- 曲目:チャイコフスキー:交響曲第6番「悲愴」  
エルガー:エニグマ変奏曲  
モーツァルト:歌劇「魔笛」序曲
- 入場料:無料  
右のQRコードまたはURLから事前にお申込み下さい。  
※未就学児不可  
電子チケット [teket\(https://teket.jp/564/27690\)](https://teket.jp/564/27690)  
問い合わせ:事務局 TEL 090-6530-8539  
メール [kumin\\_kyo@yahoo.co.jp](mailto:kumin_kyo@yahoo.co.jp)



teket

「遊学スポット」掲載希望の方へ  
次号は309号(2024年2・3月発行号)です

「遊学スポット」ならび「登録グループからの会員募集」の締切は12月26日(火)です。概ね2月10日~4月10日迄のイベント情報をお寄せください。詳しくは区民活動支援センターまで!



大倉山公園愛護会の皆さん

花と緑でつながるこうほく ~グリーンボランティア活動~

## [大倉山公園愛護会]

大倉山記念館に向かう坂道の途中から記念館脇の花壇とプランターからなるコミュニティガーデンの日々の手入れや、季節ごとに草花の植え替えを行っています。2027年の国際園芸博覧会に向け、プロのガーデナーの講習を受けて宿根草を取り入れた新しい花壇づくりにも挑戦しています。

ボランティアに関するお問合せ  
大倉山公園愛護会 高橋 045-542-1611



記念館坂の花壇

# 区民活動支援センターからのお知らせ

## 「港北地域学」講座 ～もっと学ぼう！港北区のあれこれ～

自然環境と歴史に育まれた港北区。港北区の成り立ち、特性など様々な学ぶ講座です。  
「港北地域学」講座は、4回の単独講座(1回ごとの募集)として行います。参加費は無料です。

参加者  
募集中!!

### 第3回 洪水から街を守る 「鶴見川流域水マスタープランとは」

～「暴れ川」鶴見川の水害の歴史と治水対策～

日時: 令和6年1月22日(月)13:00～15:30

会場: 鶴見川流域センター コミュニティールーム  
(小机町2081 JR横浜線小机駅から徒歩約7分)

講師: 鶴見川流域ネットワーク  
事務局長 小林 範和氏

募集期間: 12月8日(金)～令和6年1月11日(木)



鶴見川多目的遊水地(洪水調節時)



応募フォーム  
12月8日より受付開始

### 第4回「港北区の疑問に答えます！」 ～港北区のことをもっと知ろう～

日時: 令和6年2月20日(火)13:30～15:30

会場: 港北区役所 4階1号会議室  
(大豆戸町26-1 東急東横線大倉山駅から徒歩7分)

講師: 大倉精神文化研究所  
所長 平井 誠二氏

応募期間: 令和6年1月12日(金)～2月8日(木)



平井誠二氏



応募フォーム  
令和6年1月12日より  
受付開始

## 花と木のウォーキングツアー

### 第4回 大倉山から自然と芸術を求めて (行程: 約6.0km・健脚向き)

梅の香り的大倉山から彫刻のみち太尾堤緑道を抜け、横浜アリーナから早めの桜が咲く新横浜駅前公園へと散策します。

実施日: 令和6年2月20日(火) 集合時間: 9:30 集合場所: 大倉山記念館前

参加費: 500円(保険料等) 募集人数: 50人(応募多数の場合は抽選)

応募方法: 応募フォームまたは往復はがきの往信に①ツアー名「花と木4」②〒・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号(複数人の応募の場合は全員の氏名(ふりがな)・年齢)③返信の宛名にご自身の〒・住所・氏名をご記入の上、区民活動支援センターへ

応募期間: 令和6年1月4日(木)～2月5日(月) ※往復はがきで応募の場合は必着



応募フォーム  
1月4日から  
受付開始

## ご意見ご感想をお寄せください

いつも「楽遊学」をご覧いただきありがとうございます。  
内容についてのご意見・ご感想、お気づきの点など、支援センターまでお寄せください。

港北区区民活動支援センター(港北区役所4階48番窓口)

〒222-0032 港北区大豆戸町26-1

TEL&FAX 540-2246

Eメール ko-center@city.yokohama.jp

港北区区民活動支援センター

検索

★開館時間★

月～金曜 8時45分～17時(土・日曜、祝日、年末年始除く)

